

透析室で新型コロナウイルス感染症患者が発生したら 透析ハンドブック

～透析室で実践できること・初動マニュアル～

内容

- I. ハンドブック作成の経緯 1
- II. 透析治療の環境における「4つの特徴」 2
- III. 透析治療患者の「2つの特徴」 2
- IV. 【マニュアル】透析室で新型コロナウイルス患者が発生したら ... 3～5
 - 1. 陽性者の対応（入院調整依頼・発生届の提出）
 - 2. 自院の患者・職員の対応（リスク評価と・PCR実施）
 - 3. 透析スキップ案を検討する（スキップ・時間短縮の検討）
 - 4. 感染を広げない工夫（透析ベッド配置の工夫）
 - 5. 【参考資料】保健所管轄、入院調整依頼電話番号一覧

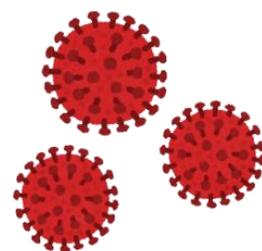
別紙

- ①チェックリスト、②接触者調査票、③迅速リスク評価記録表、④リスク判定表



札幌市保健所医療対策室

2022年1月7日発行 Ver1.0



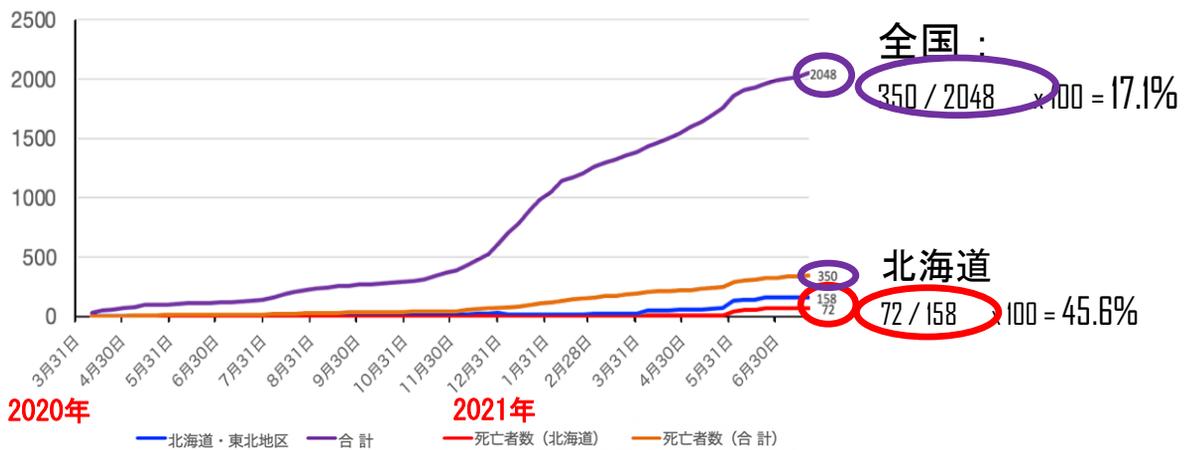
I . ハンドブック作成の経緯

透析患者が新型コロナウイルスに感染した場合、致命率が高いことは周知の事実です。第4波の札幌市では透析患者の陽性者が多く見られ、致命率も高値でした。そのため、札幌市医師会とともに透析医療機関のみなさまのご協力のもと、迅速に透析患者へのワクチン接種を率先して行い、5波では、感染者数も一桁台へと減少が見られました。

これからも、コロナとの戦いはまだ続きます。最も重症化しやすい合併症をもつ透析患者を守っていくために、これまでの経験をまとめ、共有するためにハンドブックを作成しました。ご活用いただき、もしもの時の備えをスタッフのみなさまで話し合い、ご準備いただければ幸いです。

全国に比べ、道内の透析患者の致命率が高い

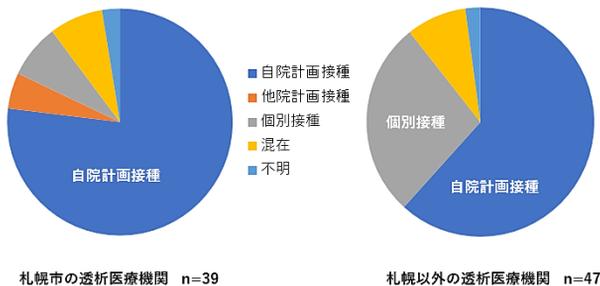
COVID-19 x 透析患者（死亡者数）**第4波終了時**



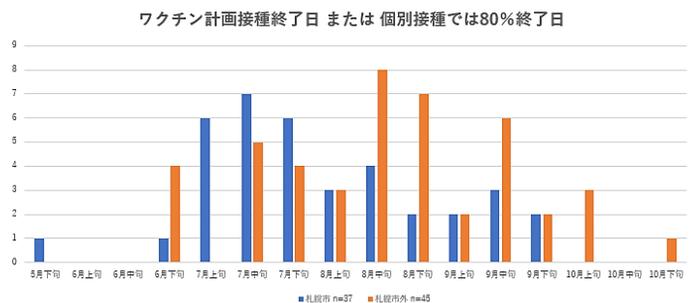
日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会資料より改変

札幌市保健所提供データ・一部改変

透析患者がワクチンを接種した場所



ワクチンを接種し終えた時期



	透析感染者数	全感染者数	透析感染比率
第4波	118	13321	0.88%
第5波	5	11328	0.04%

北海道透析療法学会 小林 真也先生提供

札幌市内の透析医療機関では7月上旬より透析患者のワクチンを開始し、5波では感染者数も死亡者数も劇的に減少した。

Ⅱ. 透析治療の環境における「4つの特徴」

特徴1 3密環境になりやすい（密閉・密集・密接）

- ・ 限られた面積の透析室で多くの患者が治療を受け、複数のスタッフが働いている。
- ・ 集中した時間帯に穿刺など密接に関わり、患者から次の患者へとケアが移行していく。

特徴2 長い透析時間と透析回数

- ・ 3～5時間、多くの人間が一つの空間を共有し、
週に1～3回の透析を受けることになるため、多くの交差がおこる。

特徴3 共有物品の多さ

- ・ 透析室のベッド、リネンや医療器具、更衣室、ロッカー、食堂など
多数の人が共有して使用する頻度が高い。

特徴4 換気のしづらさ

- ・ 同一時間帯に集中して複数の患者が密集した状態で治療を受ける環境下で、
そもそも免疫力が低下している患者には、外気により換気するリスクがあり、
さらに透析治療中の寒暖差に敏感であるため、透析室は低換気となる。

Ⅲ. 透析治療患者の「2つの特徴」

特徴1 患者の平均年齢は約70歳（参考文献1）

- ・ 透析患者総数は34万4,640人（前年比1.4%増）

平均年齢は69.09歳

特徴2 慢性透析患者の原疾患は糖尿病性腎症が最も多い

- 1位 糖尿病性腎症（39.1%）
- 2位 慢性糸球体腎炎（25.7%）
- 3位 腎硬化症（11.4%）

IV. 透析室で新型コロナウイルス患者が発生したら

1. 陽性者の対応

- 発生届を提出する。
 - 入院調整班に連絡し、今後の透析を含めた療養について相談する。
- この二つを同時並行で行う。

(1)発生届の提出 ※(2)と同時並行で行う

診療所所在地の保健所に発生届を提出（事務方と連携）

- ・電話で第一報を入れた後、HER-SYSにて発生届を提出
【札幌市保健所】TEL 011-676-3667 FAX 011-633-0744
- ・発生届は院内で指示責任をもつ医師の名前で提出することが望ましい。
（電話がかかってくる可能性があり、指示系統が乱れるとよくない。）

(2)透析を含めた療養の相談をする。

患者居住地の保健所に連絡する。

- ・患者が札幌市在住の場合は、以下の順番で動く
 1. 保健所に検査結果をメールで報告 kansen_kensa@city.sapporo.jp
 2. 陽性患者の連絡 ①カナ氏名、②生年月日、③患者電話番号、④住所、⑤現在いる場所（入院先医療機関、自宅待機中）、⑥医療機関担当者氏名
 3. 入院調整班に電話連絡し、以後の療養について相談 **011-633-0732**
- ・患者が札幌市民以外の場合は患者居住地管轄の保健所へ電話（参考資料参照）

まずは落ち着き、スタッフと周囲の患者への感染対策を行いながら、COVID-19患者にとって、最適な方法を考えましょう！

2. 自院の患者・職員の対応

リスク評価とPCR対象者判断を同時に実施、自院内評価として保健所に提出

(1) 情報を整理する

- ① 接触者調査票（別紙2）
- ② 迅速リスク評価記録表（別紙3）

(2) リスク評価・PCR対象者判断

- ① リスク判定表（別紙4）
→感染者と周囲の人間の具体的な感染対策によって変化する

【参考】リスク評価に必要な情報とは（具体例）

- ・患者はマスクをしていたか？マスクの材質は？
- ・職員はPPEを適切に装着して仕事したか？
- ・患者と職員間で物(荷物や薬)の授受をしたか？
- ・（授受した場合）職員は適切に手指衛生を保っていたか？
- ・患者との距離？会話量は？
- ・同一ベッドを使用した他グループの患者は？
- ・ロッカー共用患者は？
- ・患者の穿刺、回収、受け持ち職員、接触度合いは？

ここでのゴールは、リスク者のリストアップと接触度合いの書き出し

リストアップしたリスク者のPCRのスケジュール+リスト送信

患者：リスク評価を根拠にPCR実施を判断、同グループは最優先で最速で実施
具体的な検討→いつやるか？これから来てもらえるか？次透析まで待てるか？
唾液スピッツだけとりに来てもらって、透析時に提出してもらおうなどもあり

職員：PPE装着して無症状であれば1回のPCR実施でよい

→とりあえず「今」いる人は捕まえて実施、一両日中に対象者全員できるように

**PCRは実施したらエクセルファイルの提出が必要！
原則、医師が記入し保健所へ送る**

3. 透析スキップ案を検討する

院内感染拡大のリスクがあれば、次回透析のスキップや透析時間の短縮を検討

- ・ **感染対策を継続することによる数週間後のスタッフの疲弊を想定**
→午前午後ともに3時間透析、2部透析は15時くらいから開始が現実的
- ・ **潜在的感染者からの感染拡大を想定**
→拡大リスクあれば感染者の発生したグループごと次回透析をスキップするのも一つの案

スキップ案シミュレーション

感染判明日が月曜か火曜で感染者が

- 月曜1部**の場合：全患者を水曜スキップできるか検討
- 月曜2部**の場合：全患者を水曜スキップできるか検討
- 火の場合：火曜スキップは多分厳しいが木曜スキップを検討

感染判明日が水曜か木曜で感染者が

- 月曜1部**の場合：金曜スキップは困難であろうから仕方なし
- 月曜2部**の場合：間に合えば全患者を水曜スキップできればする（判明した時間による）
- 火の場合：間に合えば木曜スキップを積極検討（判明した時間による）

金、土、日曜に感染者が判明した場合、透析スキップはおそらく不可能なので、可能な限り特に2部患者での発生の場合は患者に来院いただきPCRを実施することを積極的に検討する



ルーチンの定期検査、特に胸部Xpは、「1.感染拡大を防止する」、「2.スタッフの負荷低減」の2点からスキップを検討してもよいかも！（必要な人はもちろん行ってください。採血は採血管提出時に配慮が必要です）

4. 感染を広げない工夫

透析ベッド配置を工夫して万が一に備える

- ・ **臨時透析患者、ワクチン未接種者が既に感染している場合を想定**
→ベッド配置を端にする(中央に配置しない)、対象者同士を隣合わせにしないなども一つの案
→万が一、陽性者が発生した場合でも、配置を工夫していれば事務負担が軽減される



医師は入院調整終了まで「初動の」仕事が続きます。
クラスター化すると日常診療の負担も加算され、健康状態を維持することが難しいほどに激しく疲弊します。
コロナ患者が発生したら、日常業務の削減（急がないものは全て延期が原則）を心がけましょう！

【参考資料】 保健所管轄、入院調整依頼電話番号一覧（2021年11月30日時点）

市町村名	所轄保健所	電話番号
札幌市	札幌市保健所	011-633-0732（入院調整班）
北広島市	千歳保健所	0123-23-3175（代表）
江別市	江別保健所	011-383-2111（代表）
石狩市		
当別市		
夕張市	岩見沢保健所	0126-20-0122（ダイヤルイン）
由仁町		
長沼町		
栗山町		

透析ハンドブック ワーキンググループ

※職名は令和3年12月現在、五十音順、敬称略

遠藤 陶子	医療法人社団H・N・メディック 理事長
木村 剛	社会医療法人医翔会 札幌白石記念病院 血液浄化センター室長
工藤 岳秋	医療法人はまなす 篠路はまなすクリニック 理事長・院長
小塚 麻紀	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 臨床工学技術科
小山 雅之	札幌医科大学公衆衛生学講座 助教 兼 循環器・腎臓・代謝内分泌内科講座
中西 香織	札幌市保健所医療対策室 疫学担当部長
橋本 佳苗	札幌医科大学附属病院 臨床工学部
藤田 信司	札幌センチュリー病院 理事・副院長・人工透析センター長



透析室で新型コロナウイルス感染症患者が発生したら

透析ハンドブック

札幌市保健所医療対策室
2022年1月7日発行 Ver1.0

